

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第7部門第3区分
【発行日】平成16年11月4日(2004.11.4)

【公表番号】特表2000-505607(P2000-505607A)

【公表日】平成12年5月9日(2000.5.9)

【出願番号】特願平9-529024

【国際特許分類第7版】

H 0 3 M 13/23

H 0 4 L 1/00

H 0 4 Q 7/38

【F I】

H 0 3 M 13/12

H 0 4 L 1/00 Z

H 0 4 B 7/26 1 0 9 N

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月10日(2003.12.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成15年12月10日

特許庁長官 今 井 康 夫 殿

1. 事件の表示

平成9年特許願第529024号

2. 補正をする者

名称 ノキア モービル フォーンズ リミティド



3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士 (7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通り補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通

方 式 査 査 (佐藤)

請求の範囲

1. データフレームが少なくとも1つの情報部分と1つの制御部分とを有し、伝送されるべき情報の少なくとも一部分が前記情報部分内に配置され、チャンネルコード化済みデータフレームを形成するために前記データフレームが送信段階においてチャンネルコード化され、チャンネルコード化済みデータフレームは通信路において伝送されるべきバーストに変換される、前記データフレーム形式の情報の伝送を向上させるための方法において、伝送されるべき情報が1つのバーストにおいて転送され、伝送されるべき情報は第1の情報エレメントと第2の情報エレメントに分割され、チャンネルコード化されたデータフレームは、次に示す操作の1つ、即ち、

チャンネルコード化済みデータフレームの一部分が伝送されるべき情報の一部分によって置き換えられる操作、

チャンネルコード化済みデータフレームの一部分が除去される操作、

上記両方の操作、

を実施することによって修正され、

受信段階において、伝送された情報が、受信され、修正されたチャンネルコード化済みデータフレームから復元されることを特徴とする方法。

2. 前記情報部分の長さが固定されていることを特徴とする請求項1記載の方法。

3. チャンネルコード化以前に、情報のために予約済みのスペースよりも多くの情報ビットが前記データフレーム内に挿入されていることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

4. 前記情報ビットの一部分が、チャンネルコード化以後に、前記データフレームに挿入されることを特徴とする請求項1又は2に記載の方法。

5. 前記情報エレメントが第1の情報エレメントと第2の情報エレメントとを有する請求項1～4のいずれか一項に記載の方法において、チャンネルコード化済みデータフレームの一部分が第2の情報エレメントによって置き換えられることを特徴とする方法。

6. 前記情報エレメントが第1の情報エレメントと第2の情報エレメントを有

する請求項1～5のいずれか一項に記載の方法において、前記制御エレメントの一部分が第2の情報エレメントによって置き換えられることを特徴とする方法。

7. データ伝送が移動通信システムにおいて実施されることを特徴とする請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

8. 前記データフレームがランダムアクセスバーストを形成するデータフレームであることを特徴とする請求項7に記載の方法。

9. データ伝送が移動通信システムの基地局と移動局との間で実施される請求項5～8のいずれか一項に記載の方法において、少なくとも1つの向上したデータ伝送方法が基地局および移動局において利用可能であり、基地局が移動局にデータ伝送に用いられるべき方法について通知し、前記移動局が基地局によって通知されたデータ伝送のための方法を使用することを特徴とする方法。

10. 前記の方法が制御チャネルにおいて通知されることを特徴とする請求項9に記載の方法。

11. 前記の移動通信システムが複数の向上したデータ伝送システムを有し、少なくとも1つの向上したデータ伝送システムが前記基地局において利用可能であり、前記の移動通信システムにおいて利用可能な少なくとも2つ、好ましくは全ての向上したデータ伝送システムが前記移動局において利用可能であることを特徴とする請求項9に記載の方法。

12. データ伝送が論理チャネルを使用することによって実施される請求項7～11のいずれか一項に記載の方法において、向上したデータ伝送方法が前記の移動通信システムに追加されるべき新規なチャネルにおいて使用されることを特徴とする方法。

13. データフレームが少なくとも1つの情報部分と1つの制御部分とを有し、伝達されるべき情報の少なくとも一部分が前記情報部分内に配置され、チャネルコード化済みデータフレームを形成するために前記データフレームのチャネルコード化を実施するための手段(3)と、前記チャネルコード化済みデータフレームを通信路において伝送されるべきバーストに変換するための手段(5)とを有する、データフレーム形式の情報の伝送を向上させるためのシステムにおいて

伝送されるべき情報が、必要に応じて、第1の情報エレメントと第2の情報エレメントに分割され、

システムが、更に、1つのバーストにおいて伝送されるべき情報を転送するための手段（3，4，5）と、転送された情報を、受信され、修正されたデータフレームから復元するための手段（11）とを有し、

前記チャンネルコード化済みデータフレームを修正するための手段（4）が次に示す操作の1つ、即ち、

チャンネルコード化済みデータフレームの一部分が伝送されるべき情報の一部分によって置き換えられる操作、

チャンネルコード化されたデータフレームの一部分が除去される操作、

上記両方の操作、

を実施するように配列されていることを特徴とするシステム。

14. 前記システムが、更に、チャンネルコード化以前に、情報のために予約されたスペースより多くの情報ビットをデータフレームへ挿入するための手段（4）を有することを特徴とする請求項13に記載のシステム。

15. 前記システムが、更に、チャンネルコード化以後に、情報ビットをデータフレームへ挿入するための手段（4）を有することを特徴とする請求項13に記載のシステム。

16. 前記情報エレメントが第1の情報エレメントと第2の情報エレメントに分割される請求項13又は15に記載のシステムにおいて、前記のチャンネルコード化済みデータフレームを修正するための手段（4）が前記のチャンネルコード化済みデータフレームの一部分を前記第2の情報エレメントによって置き換えるための手段（4）を有することを特徴とするシステム。

17. 前記情報エレメントが第1の情報エレメントと第2の情報エレメントに分割される請求項13に記載のシステムにおいて、前記のチャンネルコード化済みデータフレームを修正するための手段（4）が前記制御エレメントの一部分を前記第2の情報エレメントによって置き換えるための手段（2）を有することを特徴とするシステム。

18. データフレームが少なくとも1つの情報エレメントと1つの制御エレメ

ントとを有し、伝送されるべき情報の少なくとも一部分が前記情報エレメント内に配置され、チャンネルコード化済みデータフレームを形成するために前記データフレームをチャンネルコード化するための手段(3)と、通信路において伝送されるべきバーストをチャンネルコード化済みデータフレームから形成するための手段(5)とを有する、データフレーム形式のデータ伝送によって情報を伝送するための手段(1, 2, 3, 5, 6, 7)を備えた移動局において、前記移動局が、更に、チャンネルコード化済みデータフレームの一部分を除去し、かつ/または、チャンネルコード化済みデータフレームの一部分を伝送されるべき情報の一部分によって置き換えることによってチャンネルコード化済みデータフレームを修正する手段(4)を有することを特徴とする移動局。

19. 前記移動局が、更に、チャンネルコード化以前に情報ビットをデータフレームへ挿入するための手段(4)を有することを特徴とする請求項18に記載の移動局。

20. 前記移動局が、更に、チャンネルコード化以後に情報ビットをデータフレームへ挿入するための手段(4)を有することを特徴とする請求項18に記載の移動局。

21. データフレームが少なくとも1つの情報エレメント及び1つの制御エレメントを有し、伝送されるべき前記情報の少なくとも一部分が前記情報エレメント内に配置され、前記データフレームが伝送段階においてチャンネルコード化済みデータフレームを形成するためにチャンネルコード化され、基地局が通信路から受信するように配列されたバーストをチャンネルコード化済みデータフレームへ変換するための手段(9, 10)を有する、データフレーム形式のデータ伝送による情報を受信するための手段(8, 9, 10, 12, 13)を備えた基地局において、

伝送されるべき情報が、必要に応じて、第1の情報エレメント及び第2の情報エレメントに分割され、

チャンネルコード化済みデータフレームが、伝送段階において、次に示す操作の1つ、即ち、

チャンネルコード化済みデータフレームの一部分が伝送されるべき情報の一部分

によって置き換えられる操作、

チャンネルコード化済みデータフレームの一部が除去される操作、

上記両方の操作、

を実行することによって修正され、

前記基地局が、更に、受信段階において、受信され、修正されたチャンネルコード化済みデータフレームから伝送済み情報を復元するための手段（１１）を有することを特徴とする基地局。

２２．前記基地局が、更に、チャンネル復号以前に、伝送された情報の一部分を復元するための手段（４）を有することを特徴とする請求項２１に記載の基地局。

２３．前記基地局が、更に、伝送された情報をチャンネル復号以後に復元するための手段（４）を有し、前記データフレーム内に、情報用に確保されたスペースよりも多くの、チャンネルコード化以前に挿入された情報ビットが有ることを特徴とする請求項２１に記載の基地局。